

ウェットバーナー塗布方法

(御影石バーナー仕上げ専用)

- 予備テスト**
- ・サンプル板等で、下記方法にしたがって塗布し、色調等の確認を行なって下さい。色調は塗布直後ではなく数日後の状態で判断して下さい。
 - ・前記を参照に塗布施工が可能かどうか石材の状態確認をしておいて下さい。
- ※ 石材の種類によっては意図する色調にならない場合があります

前処理 イシクリーンシリーズ洗浄剤で石材の汚れを除去します。

乾燥 石材を十分に乾燥させて下さい。モルタル目地の場合は、目地の乾きが目安となります。

塗布 原液をきれいな刷毛、ウェス等で均一に塗布して下さい。図B参照標準塗布量を参照にし、2回に分けて塗布しますので、塗布量の半量を目安にして下さい

ウェットバーナーは拭き取り作業はありません。

塗布面を手で触り樹脂が付着しないような状態で色相を確認して下さい。

基本的には、2回塗りですが1回塗布で意図する色相になる場合があります。

斜面、縦面では下部の方に液溜りができやすくなり、テカリが生じますので注意して下さい。尚、**スプレー塗布は厳禁**です。

再塗布 前記と同じ方法でもう一度塗布作業を行なって下さい。

厚塗りしますとテカリが出て、雨天時等水がかかると滑りやすくなる場合があります。

石材表面にいつまでも液溜りが残るようでしたら拭き取って下さい。

⇒下記修正方法確認

2～3時間後に均一な色調になっているか確認を行ないます。

養生 6時間は水がかからないようにし、一般歩行は避けて下さい。

養生時間は、現場状況、気温によって異なります。

天候、石材の状態が良好にもかかわらず塗布方法により色調に濃淡が発生した場合は下記の方法で修正を行なって下さい。ただし石材は1枚ごとに浸透のしかたが異なる場合がありますので、全て同じ色調に仕上がるとは限りません。

【修正方法】

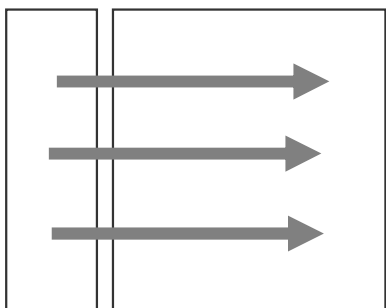
修正部分だけでなく、石材1枚分にイシノールハクリもしくはハクリセーフを塗布し薄く表面の剥離を行なう。または、堅いブラシでブラッシングを行ない薄く表面剥離を行ない、再度ウェットバーナーを重ねて塗布する。この場合も石材1枚単位で行なって下さい。

完全に除去したい場合はイシノールハクリで湿布して除去します。

※ 必ず目立たない場所でテストしてから本施工を行なって下さい。

塗布方法

図A 目地をまたいで塗布しない(悪い例)



図B 目地を先に塗布してから石材1枚ずつ塗布する

